

2019年9月末現在

事業所数 19社
被保険者数 1,683人
被扶養者数 1,795人

すゝめ

No.152
2019

神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

2018年度健保決算

3年ぶりに黒字

医療費など軒並み減

神戸新聞健康保険組合の「2018(平成30)年度収入支出決算案」が、7月29日の組合会で、全会一致で承認された。経常収入は10億3414万円(前年度比4314万円増)、経常支出は8億4512万円(同2億3912万円減)で、経常収支は1億8901万円となり、3年ぶりの黒字決算となった。保険料率が0.5%アップして9.5%となり、保険料収入が伸びた。一方で、高齢者医療制度を支えるために拠出する納付金のうち、前期高齢者納付金が前年と比べ、1億2927万円減と大幅に軽減されたほか、医療費に当たる保険給付費も同7884万円減と大きく減

少した。なお、国庫補助金など経常外収支を繰入れた総決算収支は、2億1314万円の黒字となった。

料率の改定で 保険料収入増

経常収入の一番の柱である保険料収入は料率改定効果で、10億2543万円(同5469万円増)と増加した。算出根拠となる平均被保険者数は1695人で、前年より16人減少。育休免除者分を除く平均標準報酬月額額は51万1678円(同3748円増)。総標準賞与額(年間)は6億398万円で、同1158万円増だった。

その他施設利用料収入は390万円(同840万円減)。定期健診費用を全額事業主に振り替えたため大幅減となった。ここでは人間ドックやがん検診などの自己負担分等が計上されている。

一方、経常外も合わせた総収入は10億7249万円(同

7347万円減)。前年は収入不足を補うため、別途積立金から1億円を繰入れたが、その必要がなかった。このほか、国からの助成金として高齢者医療制度円滑運営補助金1886万円等が交付された。

◇2018年度収支決算 (単位：千円、▲はマイナス)

	主な項目	2018年度	2017年度	増減
収入	経常収入 A	1,034,141	991,000	43,141
	(内訳) 保険料収入	1,025,439	970,745	54,694
	その他収入	8,702	20,255	▲11,553
	経常外収入 B	38,350	154,969	▲116,619
	総収入 A+B	1,072,491	1,145,969	▲73,478
支出	経常支出 C	845,125	1,084,252	239,127
	(内訳) 保険給付費	402,236	481,077	78,841
	納付金	361,016	501,651	140,635
	・前期高齢者納付金	136,937	266,208	129,271
	・後期高齢者支援金	222,065	222,240	175
	・退職者給付拠出金	2,013	13,199	11,186
	・老人保健拠出金	1	3	2
	事務費	45,315	47,445	2,130
	保険事業費	31,919	49,225	17,306
	その他支出	4,639	4,854	215
	経常外支出 D	14,223	14,224	1
	総支出 C+D	859,348	1,098,476	239,128
	経常収支 A-C	189,016	▲93,252	282,268
	収支決算 (A+B)-(C+D)	213,143	47,493	165,650

前期高齢者納付金が大幅減

経常支出は8億4512万円（同2億3912万円減）で、前年から大きく改善した。

主なものは、納付金が3億6101万円（同1億4063万円減）。保険料収入に占める納付金の割合は35・2%に下がった（前年は51・6%）。内訳は「前期高齢者（65〜74歳）納付金」が1億3693万円（同1億2927万円減）の大幅減。前期高齢者納付金額は、2年前の保険給付実績に大きく左右される。2016年度の保険給付費がここ数年では最も低額だったことと現れ、どちらにしても今回の軽減は一時的な現象とみられる。

「後期高齢者（75歳以上）支援金」は2億2206万円（同17万円減）だった

医療費に当たる保険給付費は4億223万円（同7884万円減）。家族も含めた療養費が4369万円減、高額療養費が1647万円減、家族

も含めた薬剤費が986万円減、家族も含めた出産育児一時金が494万円減など、軒並み減少した。

保健事業費は3191万円（同1730万円減）。内訳は定期健診・人間ドック検診などの支払いに充てる疾病予防費が2993万円（同1675万円減）、保健指導宣伝費が115万円（同49万円減）、特定保健指導事業費66万円（同18万円増）など。

このほか、事務費が4531万円（同213万円減）。事務経費の節減が功を奏した。

年々重くなる介護負担金額

次に、介護保険勘定。収入1億2621万円（同776万円増）、支出1億2041万円（同1048万円増）で、収支差額は580万円（同271万円減）となった。

2018年度平均の被保険者たる第2号被保険者数は1589人（同43人増）。内訳は被保険者1080人（同39人増）、被扶養者509人（同4

人増）。一方、平均標準報酬月額（育児保険料免除者除く）は59万7663円（同5747円減）だった。

介護勘定の収支は、国から割り当てられた介護納付金額がそのまま支出額となる。その

れを賄える額を収入額とし、逆算で保険料率が決まる仕組み。同年度保険料率は1・44%で、事業主と被保険者が折半して負担した。

2019年春季定期健診結果 受診率は93・9%

有所見トップ肝機能で変わらず

「2019年度春季定期健診診断」の受診率（アルバイ

ト等未加入者も含む）は、93・9%だった。直近の昨年秋季

は、94・8%だった。たが、昨秋と比べ、2・8ポ

2019年春季定期健診受診率

	対象者	受診者	受診率%	(18年秋)	(18年春)
神戸新聞		793	95.9	96.6	97.2
	被保険者	802	779	97.1	98.2
	未加入者	25	14	56.0	60.0
輸送センター		54	88.5	100.0	91.9
	被保険者	48	47	97.9	100.0
	未加入者	13	7	53.8	64.3
神戸新聞事業社	78	78	100.0	98.8	97.6
KCC	33	33	100.0	91.9	97.5
健保組合	3	3	100.0	100.0	100.0
ラジオ関西	53	52	98.1	100.0	100.0
サンテレビ	153	140	91.5	88.8	90.4
DS	66	65	98.5	89.5	96.1
サン神戸	19	19	100.0	100.0	100.0
総合印刷		157	84.0	88.6	87.2
	被保険者	151	150	99.3	100.0
	未加入者	36	7	19.4	5.0
神戸新聞興産	21	21	100.0	100.0	100.0
総合折込	35	34	97.1	97.1	100.0
文化財団	4	4	100.0	100.0	100.0
厚生事業団	3	3	100.0	100.0	75.0
京阪神エルマガ	78	75	96.2	90.1	94.6
地域創造	33	32	97.0	96.6	93.3
新聞会館	14	13	92.9	100.0	100.0
DSクオリティ	47	47	100.0	100.0	100.0
任意継続	39	24	61.5	62.5	53.8
合計	1,754	1,647	93.9	94.3	94.6

イント悪化した。

検査項目別にみると、ワー
ストワンは昨秋と変わらず肝
機能で、21・3%。以下2位
血圧14・5%、3位血糖10・
8%、4位血中脂質8・6%
の順。また、12・9%に心電
図の異常がみられた。
いずれにせよ肝機能、血圧、

血中脂質の異常は、肝臓がん
や、糖尿病、心電図異常は心臓
疾患に向けての入り口といえ
る。原因は運動不足、暴飲暴
食、喫煙など。今回の定健結
果を踏まえ、食生活など生活
習慣の見直し、早めの医療機
関訪問等に心掛けてほしい。

「秋の定期健康診断」

10月実施、全員受診を

神戸新聞グループの全従業
員を対象にした「2019年
度秋季定期健康診断」を、10
月に行います。全員もれなく
受診されますよう、お願いし
ます。日程は以下のとおりで
す。

◎西神製作センター

10月8日―11日、午後3
時から。(女性は8日午後2
時半―同3時のみ)

◎阪神製作センター

10月21日、28日の午後3
時半から。

◎サンテレビジョン

10月17、18日の午前10時、

午後1時半から。

◎神戸新聞本社

10月23―29日、午前9時

メンタルヘルス相談

専用ダイヤル

0120-370738

月～土曜日10:00～22:00
(祝日・年末年始を除く)
相談料・電話料 無料

「標準報酬月額」

9月分から見直されます

半、午後1時半から。(女性
は23日午前と、24日午後1
時半―同3時半、25、28日
午後3時半―同5時)
なお、9、10月中の人間ド
ック受診者は、この結果をも
って秋の定健の代用とでき
ます。定健受診票に必要事項
を記入の上、ドック受診結果
のコピーを添えて健保組合ま
で提出して下さい。

毎月の健康保険料などの算
出に使われる標準報酬月額は、
毎年1回見直され、9月分の
保険料(10月控除)から翌年
8月までの1年間、適用され
ます。標準報酬月額の変動に
より、保険料の額が変わって
くる人も出てきます。「標準報
酬月額」について説明します。
健康保険の保険料は、毎月
の給料の支給額に応じて決め
られます。しかし、支給額は
一人ひとり違いますし、同じ
人でも残業代などで月によっ
て変動します。そこで、保険
料の計算には支給額を50等級
に区分した「標準報酬月額」
を使用します。

「標準報酬月額」は、毎年4、

5、6月の支給額の平均を基
に計算され、新しい標準報酬
月額が9月から翌年8月まで
の1年間適用されます。定時
決定といい、これが一般的で
す。

一方、昇格などで毎月の手
当が変わり、支給額が大幅に
変動する場合があります。具
体的には連続した3か月間の
報酬額の平均が2等級以上変
わる場合です。この場合は次
の定時決定時を待たずに直ち
に標準報酬月額を改定します。
これを随時改定といいます。
このほか、産前産後休業終
了後、育児休業終了後に復職
して報酬額が変動した場合に
も改定されます。

公告

健康保険法第47条第2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2019年9月30日現在の平均標準報酬月額を次のとおり、公告します。

平均標準報酬月額 31等級 530,000円

退職後、任意継続者として神戸新聞健康保険組合に加入されている方は、平均標準報酬月額または当人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で算出します。適用は2020年4月からです。 以上

◆新しい理事・議員（敬称略）

選 定 議 員		
理事長	見上 求	神戸新聞健康保険組合
常務理事	鑛 隆志	神戸新聞社総務局長
理事	田畑 道昭	同 販売局長
理事	柴田 大造	同 編集局次長
理事	中島 博史	神戸新聞健保組合事務長
監事	久野 敏弘	神戸新聞社執行役員財務局長
議員	古竹 誠治	同 総務局総務部長
議員	坂本 敬	同 メディアビジネス局次長
議員	中山 敏暢	同 経営企画局次長
議員	大同 章成	サンテレビジョン取締役
議員	山本 靖	神戸新聞総合印刷取締役

互 選 議 員		
理事	三木 良太	神戸新聞編集局報道部
理事	井上 芳則	神戸新聞地域創造事業部
理事	斉藤 章平	デイリースポーツ報道部
理事	直江 純	神戸新聞編集局整理部
理事	松本 博文	神戸新聞興産常務取締役
監事	平井麻衣子	神戸新聞販売局管理部
議員	黒岡 浩二	D S・クオリティレース部
議員	斉藤 達也	神戸新聞情報技術局編成部
議員	奥平 裕佑	神戸新聞編集局整理部
議員	菅原 正悟	神戸新聞事業社取締役
議員	盛田 悟史	ラジオ関西取締役

新議員22人が決定
任期は21年9月まで

任期満了に伴う神戸新聞健康保険組合の議員総選挙がこ
のほど行われ、新しい議員22
人が決定した。また、この中か

ら理事10人、監事2人を選出した。任期はいずれも2年間で、2021年9月20日まで。

議員は事業主側を代表する「選定議員」と、被保険者側を代表する「互選議員」で構成。定例組合会の開催は年2回（2月、7月）で予算、決算を審議。このほか、重大な問題が生じた際は随時、臨時組合会を招集して、案件の対応を協議、決定に当たる。

危ない「歯周病」
生活習慣病の誘因に

成人の約8割がかかっているといわれる「歯周病」。単なる「口の中だけのトラブル」と簡単にとらえていませんか。最近では歯周病が糖尿病をはじめとする生活習慣病に大きな影響を与えることが分かってきました。

歯周病は歯と歯肉の間にたまった細菌が引き起こす歯の感染症です。ほとんど自覚症状がないまま歯肉の炎症が進行し、やがて歯を支えている

骨が溶け、最終的に歯が抜け落ちてしまいます。

また、歯周病は血糖をコントロールするインスリンの働きを低下させるため、糖尿病になりやすくなるということ。糖尿病が悪化し、合併症に進行すると壊疽（えそ）や腎不全など深刻な障害につながります。

それだけではありません。歯周病菌が血液の中に入り込むと、全身のさまざまな部位に悪影響を及ぼします。その結果、狭心症や心筋梗塞などの心臓病、脳こうそくなどを引き起こすこととなります。

こんなやっかいな歯周病を予防するには毎日、丁寧な歯磨きを励行することに加え、「かかりつけ歯科医」を持って定期的に指導を受けることが大切ということです。体の健康は何よりもまず、「歯の健康から」といえそうです。

◆ジエネリック差額通知配布

処方された薬品をジエネリック薬品に切り替えた場合、自己負担額が年間5千円以上の差額が生じる人を対象に、12月―来年1月に「ジエネリック差額通知書」を配布します。

薬は、新薬（先発医薬品）とジエネリック医薬品（後発医薬品）の2タイプがあります。ジエネリック薬品は特許期限が切れた後に製造され、先発医薬品と同じ成分・効き目があります。

皆さんの医療費（薬代）負担の節約と、健保組合の医療費節減のため、ジエネリック医薬品の活用にご協力ください。

◆乳がん対策に自己検診手袋配布

女性被保険者に12月、乳がん自己検診手袋「プレストケアグラブ」を配布します。乳がんは早期発見で治療する可能性が高くなっています。配布を機に、乳がんに対する理解を高めてもらい、早期発見、早期治療につなげていただければ幸いです。